

I 報告

第1 令和2年度国家予算に対する提案・要望（環境局所管分抜粋）

VI. まちの活力の創出

VI-2. 次世代エネルギー活用の推進

（経済産業省、国土交通省、環境省）

エネルギー需要の高まりや脱炭素化に向けて、世界的に再生可能エネルギーなどの次世代エネルギーの活用が求められています。

神戸市では、水素サプライチェーンの構築をはじめとした先駆的な実証事業に着手しており、平成30年4月には、水素発電による電気・熱エネルギーの近隣公共施設への供給に向けた実証が始まるなど、次世代エネルギーの中心となる水素の利活用促進に向けて着実に取り組んでいます。

水素社会の黎明期にある中で、エネルギー分野における水素の飛躍的拡大は、低炭素社会の実現に寄与することから、水素エネルギーの利活用及び普及促進に向けた先導的な取組みに対する支援、並びに水素をエネルギーとして積極的に選択する需要者の創出に向けた取組みが不可欠です。

（1）水素エネルギーの利活用促進

- 燃料電池自動車、水素ステーション及び家庭用燃料電池（エネファーム）に対する財政支援

I. まちの活力の創出

(経済産業省、環境省)

(15) 地球温暖化対策の推進

- 住宅用太陽光発電の普及拡大に向けた家庭用蓄電池設置補助の継続及び拡充

II. 安全・安心なまちづくりの推進

(国土交通省、環境省)

(6) 建設発生土の適正管理の推進

- 建設工事等により発生する土砂等の適正管理に関する法制度の整備